

2025 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 コンドーテック株式会社
代 表 者 代表取締役社長 濱野 昇
(コード番号 7438 東証プライム市場)
問合先 専務取締役管理本部長 矢田 裕之
(Tel 06-6582-8441)

弊社製品「コンブレース®」における GX スチール採用のお知らせ

当社は、自社工場製品である JIS 建築用ターンバックル「コンブレース®」の原材料の一部に GX スチールを採用しましたので、お知らせいたします。

本取り組みは、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指す当社の環境活動の一環です。

記

○「コンブレース®」への GX スチール採用について

JIS A 5540 建築用ターンバックルの認証製品「コンブレース®」を構成する部品の一つである羽子板について、一部規格サイズの原材料に GX スチール（JFE スチール株式会社「JGreeX®」および日本製鉄株式会社「NSCarbolex® Neutral」）を採用しました。

GX スチールは、鉄鋼メーカー独自の温室効果ガス（GHG : Greenhouse Gas）排出削減技術により創出した削減量を任意の鋼材に割り当てることで、鉄鋼製造プロセスにおける GHG 排出量を大幅に削減した環境配慮型の鉄鋼製品です。

今回の採用により、「コンブレース®」はより環境に配慮した建築用ターンバックルとして、各種建設プロジェクトにおける環境負荷低減に寄与します。

なお、各工場での対応状況や対応サイズについては、最寄りの営業所へ問い合わせくださいますようお願いいたします。

当社は、今後も GX スチールをはじめとする環境負荷の低い素材・技術の導入を積極的に進め、長期的な GHG 排出量削減目標の達成を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上

<参 考>

建築用ターンバックルとは

建築物の「筋交い」として使用され、地震力や風力による外力に対して抵抗して建物の変形を防ぎ、倒壊を回避する役割を持つ部材です。

ショッピングセンターや工場、倉庫などの鉄骨建築、鉄骨プレハブ住宅などの耐震用筋交いとして広く利用されており、身近な例では駅ホームの屋根などにも使用されています。



建築用ターンバックル

<使用事例>

